

配車マン『私のモットー』

【三重】中田商事

(伊賀市)の岩瀬誠・

物流事業部課長は入社2年目の34歳で配車係となった。それまで他社も含めてドライバー経験しかなかった岩瀬さん。中

田社長が配車を行う

姿を見ても、「正直、

夏でも涼しい部屋で

受話器片手に配車を

していた社長は、ラ

クな仕事をしている

と思っていた」と振

り返る。

そんな岩瀬さんに

転機が訪れた。社長

が中国視察で一週間

会社を空けることと

なり、代わりに配車

をするスタッフを

募ったのだ。「願っ

てもないチャンスに

思わず手を挙げてい

た」と笑う。いざ実

際に配車の仕事をし

てみると、思い描い

ていたラクなイメー

ジは「あっさりと崩れ去っていった」。

肉体的疲労はない

ものの、いかに効率

的に荷物をつけるか

というスピードとセ

ンスが問われた。さ

らに、社長が携帯電

話を置いて中国へ

行ってしまったこと

から頼れない状況。

それでも、困ったと

きには親しくしてい

た同業者に助けても

らうなどして何とか

こなした。中田社長

は「やらざるを得ない状況になって、人は初めて成長する」

と、真意を説明する。

それから8年、今

ではすっかり同社の

看板配車マンに成長

した。岩瀬さんの

モットーは「できる、

できないという返事

を早くはっきりする

こと」。「今後、会社

がどこまで成長する

のか一緒に歩んでい

きたい」と抱負を語

る。

(加藤 崇)

中田商事

岩瀬 誠さん

会社の成長とともに歩む

